

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 火 2	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I Comprehensive English I			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等)	Lc	科目分類	外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:川島浩勝 / Eメールアドレス:なし / 研究室:長崎外国語短期大学 3階334号 / オフィスアワー:授業終了後、質問を受け付けます。また、話し合いにより後日、時間を設定する場合があります。				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:英語情報処理能力のアップ 授業方法(学習指導法):授業は音読・多読を中心に展開され、1)文字を見ながら、ナチュラルスピードで話される英語をリピートし、同時に、その意味も理解していくタスク、2)CDから流れる英文を瞬時に聴き、それをリピートしたり、また、CDから流れる英文をオンライン状態でリピートするタスク、3)易しい英語で書かれた本(語彙レベル初級)を数冊読んだり、また、比較的ゆっくり話される英語(海外のドラマ等)に多く触れるタスク、から構成されている。 授業到達目標:授業の到達目標は、1)英文を読んで日本語に訳することなく英語の語順に従って情報を処理・理解できる、2)耳に入ってきた英語を日本語に訳することなく処理・理解できる、の2つである。				
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要):授業は音読・多読を中心に展開され、1)文字を見ながら、ナチュラルスピードで話される英語をリピートし、同時に、その意味も理解していくタスク、2)CDから流れる英文を瞬時に聴き、それをリピートしたり、また、CDから流れる英文をオンライン状態でリピートするタスク、3)易しい英語で書かれた本(語彙レベル初級)を数冊読んだり、また、比較的ゆっくり話される英語(海外のドラマ等)に多く触れるタスク、から構成されている。 第1回:方針説明・音読の重要性の確認・英語理解と日本語訳の違いの確認・英語学力診断テスト 第2回~第6回:90分授業を大まかに3つのパートに区分:A(約25分)、B(約25分)、C(約15分)、D(約15分) A:Extensive Listening(アメリカの家族生活を題材とした3種類のDVD 基本英文の音読練習) B:音読おける発音練習(母音) C:リーディングのための Listen & Repeat の練習(文字あり) D:リスニングのための Listen & Repeat の練習(文字なし) 第7・8回:練習成果テストを通しての第2回~第6回のまとめ 第9回~第14回:90分授業を大まかに3つのパートに区分:A(約25分)、B(約25分)、C(約15分)、D(約15分) A:Extensive Reading(宿題として読んできた英語の本の内容理解の確認) B:音読おける発音練習(子音) C:Listen & Repeat(文字あり)に関する困難点の把握・克服 D:Listen & Repeat(文字なし)に関する困難点の把握・克服 第15回:全体のまとめ				
キーワード				
教科書・教材・参考書	第1回目の授業で実施する英語学力診断テストにより決定する。			
成績評価の方法・基準等	定期考査 60% 小テスト 20% レポート 20% ただし、遅刻1回でマイナス3点/欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)とする。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ / 学習・教育目標				
備考(準備学習等)				